

## 医療費等分析及び第3期データヘルス計画作成支援業務仕様書

### 1 業務名

医療費等分析及び第3期データヘルス計画作成支援業務

### 2 目的

青森県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）における被保険者の医療費等を分析し、現状を把握するとともに、より有効な保健事業の実施に向けた改善点を明確にすることにより、次期データヘルス計画の策定及び保健事業の推進に資することを目的とする。

### 3 委託期間

契約日から令和6年2月29日まで

### 4 業務内容

医療費等分析資料の作成及び第3期データヘルス計画の原案作成（詳細は別紙のとおり）

### 5 提供データ及び提供時期

提供データ	システム名称	抽出年月	提供時期
① 被保険者マスタ (JKA23M0010101_KA23F034N)	広域連合電算処理システム	令和5年3月31日時点	令和5年4月
② 医科レセプト (21_REC0DEINFO_MED. CSV)	後期高齢者医療 請求支払システム	平成30年度～令和5年2月 診療分	令和5年4月
③ DPCレセプト (22_REC0DEINFO_DPC. CSV)			
④ 歯科レセプト (23_REC0DEINFO_DEN. CSV)		令和5年3月診療分	令和5年5月下旬
⑤ 調剤レセプト (24_REC0DEINFO_PHA. CSV)			
⑥ 特定健診受診者ファイル (FKAC131)	特定健診等データ 管理システム	平成30～令和3年度受診分	令和5年4月
⑦ 特定健診結果情報ファイル (FKAC163) (FKAC164)		令和4年度受診分	令和5年5月下旬
⑧ 後期高齢者の医療（健診） ・介護突合状況. CSV	KDBシステム	令和5年4月作成	令和5年5月下旬
その他分析に必要なデータで、広域連合が提供可能なもの（KDBシステム帳票等）			

### 6 再委託の制限

受託者は、本業務を第三者に委託することはできない。ただし、事前に広域連合から承諾を得た場合のみ再委託できるものとする。

## 7 留意事項

- (1) 次に掲げる費用は受託者の負担とする。
  - ・ 分析用データ及び成果品の受け渡しにかかる費用
  - ・ 受託者が協議又は報告のために広域連合の事務所を訪問する際の旅費
- (2) 個人情報を含むデータ等の受け渡しは、セキュリティが確保された方法で行うこと。
- (3) 成果品は広域連合及び市町村が利用可能なことを前提としているため、次の条件を満たすものであること。
  - ・ 成果品は、成果品にかかる著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第21条から第28条までに規定する全ての権利を含む。）及び所有権を含めて、全て広域連合に帰属するものとする。ただし、別途協議が必要な場合はこの限りでない。
  - ・ 広域連合等は成果品の改変を行うことができるものとし、受託者は本成果品に関する著作者人格権を行使しないものとする。
- (4) 成果品は次年度以降の本業務を委託する事業者へ供与することがある。

## 8 参考

- ・ 被保険者数 約22万人
- ・ レセプト件数 約600万件/年
- ・ 健診件数 約5万件/年
- ・ 二次保健医療圏別の構成市町村

津軽地域	弘前市 黒石市 平川市 西目屋村 藤崎町 大鰐町 田舎館村 板柳町
八戸地域	八戸市 おいらせ町 三戸町 五戸町 田子町 南部町 階上町 新郷村
青森地域	青森市 平内町 外ヶ浜町 今別町 蓬田村
西北五地域	五所川原市 つがる市 鯨ヶ沢町 深浦町 鶴田町 中泊町
上十三地域	十和田市 三沢市 野辺地町 七戸町 六戸町 横浜町 東北町 六ヶ所村
下北地域	むつ市 大間町 東通村 風間浦村 佐井村

別紙

## 医療費等分析資料の作成及び第3期データヘルス計画の原案作成について

### 1 医療費等分析資料の作成について

- ・ 下記項目について、令和4年度の広域連合の状況を分析しその結果を記載すること。
- ・ 必要に応じて、市町村別及び二次保健医療圏別の状況、平成30年度から令和4年度までの経年変化、全国値との比較等についても分析すること。
- ・ 分析結果は図表や地図を用いて明瞭に示すほか、適宜、国等が公開している資料を活用すること。
- ・ 単に図表を載せるだけでなく、現状や要因等について具体的に記述すること。
- ・ 下記項目に限らず、本業務目的の達成に資する事項がある場合は、追記すること。

#### 【業務の流れ】

令和5年4～5月	資料内容及び提供データについて、広域連合と協議
令和5年10月31日まで	納品
令和6年2月29日まで	必要に応じて資料を修正

#### 【分析資料記載項目】

項目	目的・内容例
① 広域連合の概況	地域の全体像を把握する。 (例) 被保険者数、人口推計、高齢化率の変化、平均寿命及び平均自立期間等
② 基礎統計	医療費に関する全体像、動向及び特性を把握する。 (例) レセプト種別件数、患者数、1人当たり医療費、要介護度別疾病状況、健診受診状況等
③ 疾病別統計	医療費と疾病構成の状況を把握する。 (例) レセプト件数、患者数、1人当たり医療費等（主要疾患の受診状況、主要傷病の受診状況、受診傷病の併存状況等）
④ 高額レセプトの疾病傾向	医療費が高額化している疾病のうち、予防可能な疾病を特定する。 (例) 要因となる主要疾病の状況分析
⑤ 被保険者の地域間流動	被保険者の受診行動における他市町村への流出入状況を把握する。 (例) 入院・外来患者と医療機関の所在地比較等
⑥ 生活習慣病の状況	生活習慣病の現状を把握し、重症化予防につなげる。 (例) 生活習慣病、関連疾病、人工透析の状況等
⑦ 重複・頻回受診の状況	重複・頻回受診の要因等を把握し、減少につなげる。 (例) 要因となる疾病、医療費との関連等

⑧ 投薬の状況	投薬の現状を把握し、適正服薬につなげる。 (例) 重複投薬、長期多剤、フレイル症状（転倒、物忘れ等）との関連等
⑨ フレイルの状況	疾病との関連や現状を把握し、フレイル予防につなげる。 (例) 生活習慣病、骨折、低栄養、口腔、健診、介護との関連等
⑩ 歯科・口腔の状況	他の疾病との相関性から口腔ケアの重要性を明らかにし、口腔機能低下予防につなげる。 (例) 肺炎、フレイル、医療費との関連等

## 2 第3期データヘルス計画の原案作成について

### 【業務の流れ】

令和5年4～5月	素案の骨子について、広域連合と協議
令和5年7月31日まで	上記1の医療費等分析結果等を反映させ、素案を納品
令和5年10月31日まで	原案納品
令和6年2月29日まで	必要に応じて原案を修正

## 3 成果品の納品について

- ・ 広域連合が編集可能なデータ形式（Word, Excel等）で作成し、DVD又はCDに格納すること。
- ・ 医療費等分析資料は、PDF形式に変換したものを併せて格納すること。
- ・ 分析過程で得られた図表等のデータは、Excel形式で編集可能な状態で格納すること。